様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

豊川音羽歴史地区

平成26年3月

愛知県豊川市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	豊川音羽歴史地区			面積	793ha
交付期間	平成21年度　～　平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	1,521百万円	国費率	0.400		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園（都市公園整備事業）、地域生活基盤施設（情報板）、高質空間形成施設（大池周辺整備事業）、土地区画整理事業（豊川西部土地区画整理事業）
	提案事業	地域創造支援事業（安全安心事業、御油のマツ並木景観整備事業）、事業活用調査

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	－	－	
	提案事業	－	－	
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設（地域防災施設）	当該地区の目標である「安心・安全に暮らし続けられる生活環境作り」を推進するため、避難地となる公園に防災施設整備事業を追加。	影響なし。当初より想定済みの事業であったため、目標値の変更はない。
	提案事業	地域創造支援事業（定住促進子育て支援事業）	当該地区の目標である「安心・安全に暮らし続けられる生活環境作り」を推進するため、住民の定住を促進する事業を追加。	影響なし。当初より想定済みの事業であったため、目標値の変更はない。

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成21年度～平成25年度	－
	変　更	－	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	地区内歴史文化施設来場者数	人/年	25,396	H19	27,343	H25	27,267	27,606	○	あり／なし	御油のマツ並木の保全・整備や文化財案内看板設置等により、来場者の増加がみられ、期待した来場者の増加となった。また、御油のマツ並木や国分尼寺跡をめぐるウォーキングイベント等、歴史文化資源を活用した取り組みが継続されており、持続的なまちづくりが確立された。	平成26年7月頃
指標2	地区内人口	人	40,964	H20	42,214	H25	41,856	42,222	○	あり／なし	土地区画整理事業等の進捗と合わせ、公園、大池周辺散策路、子育て支援施設等の生活環境が充実し、人口増加が続き、期待した居住人口となった。	平成26年7月頃
指標3	住宅戸数	戸	818	H19	1,165	H25	1,132	1,263	○	あり／なし	土地区画整理事業や安全・安心事業等により、住環境が改善されるとともに、公園、大池周辺での憩いの場の整備等により、まちの付加価値が高まり、土地区画整理事業地区内の住宅戸数の増加へとつながった。	平成26年7月頃

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1							－					
その他の数値指標2							－					
その他の数値指標3							－					

4）定性的な効果発現状況

・御油のマツ並木の景観整備や公園整備等が地域の歴史資源を見直す好機となり、御油のマツ並木をめぐる「名鉄ハイキング」や「文化財ウォークラリー」の開催、御油小学校の「卒業記念植樹」等、歴史的資源を活用した取組みが広がってきている。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	事業の進捗状況の確認、指標の達成状況の確認	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・今後も都市再生整備計画事業を実施する場合は、定期的にモニタリングを行い、事業の進捗及び目標指標の達成状況の管理を行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	地域住民主体による歴史的景観の保存・整備	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・今後も継続して、散策路整備後の維持管理について、住民を交えた協議を行い、まちづくり活動につなげる。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	歴史的景観の保存・整備 地域住民主体の防犯パトロール活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・今後も、まちづくり活動団体等との連携体制により、歴史的景観の保存・整備について、継続的に取り組んでいく。 ・今後も、地域住民主体での防犯活動への支援を継続する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

豊川音羽歴史地区（愛知県豊川市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標　：　歴史・文化・自然を活かした出会いと交流のあるまちづくり】 ○　歴史や史跡とふれあいながら散策できる交流環境の向上 ○　安心・安全に暮らし続けられる生活環境づくり	地区内歴史文化施設来場者数	単位：人／年	25,396	H19	27,343	H25	27,606	H25
	地区内人口	単位：人	40,964	H20	42,214	H25	42,222	H25
	住宅戸数	単位：戸	818	H19	1,165	H25	1,263	H25

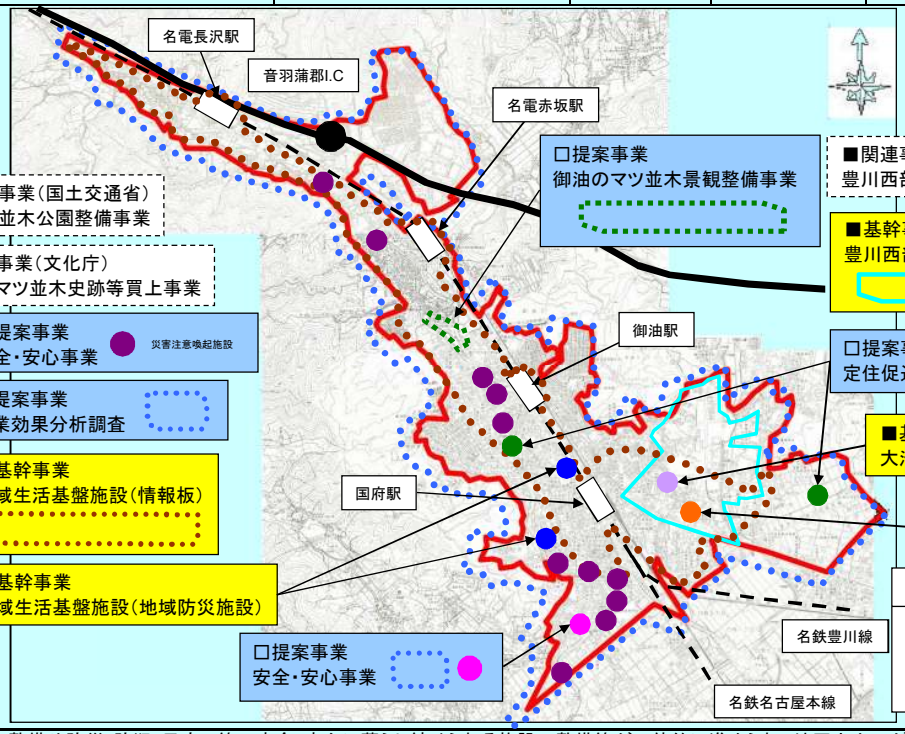
安全・安心事業
（災害注意喚起施設）

マツ並木景観整備事業

豊川西部土地区画整理事業

地域生活基盤施設
（地域防災施設）

地域生活基盤施設
（情報板）



定住促進子育て支援事業（ごゆ児童館）

高質空間形成施設（大池周辺散策路）

公園事業（4号公園）

まちの課題の変化	・土地区画整理事業、公園事業等による都市基盤の整備や防災・防犯・子育て等の安全・安心に暮らし続けられる施設の整備等が一体的に進められ、地区内人口が増加した。今後は、土地区画整理事地区内の未整備箇所の整備や子育て支援施設の拡充、地域の安全対策等、地区内の住環境改善を図る必要がある。 ・御油のマツ並木の景観整備、情報板設置、公園整備等の歴史的資源を活かした集客や活動の拠点が整備された。今後は、歴史的資源を活かした継続的なまちづくり活動の推進を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・土地区画整理事業、公園等の都市基盤整備や、子育て支援施設整備等により、地区内の住環境改善を図り、定住人口の増加を推進する。 ・道路補助照明灯整備等により、市域一体性のさらなる向上を図る。 ・歴史的資源保全団体等と連携した整備やまち歩きイベントの継続的な実施等により、歴史的資源を活かした継続的なまちづくりの推進を図る。